

令和7年度 広島市心身障害者福祉センター ミニテニス大会
競技申し合わせ事項

・本大会は原則的には日本ミニテニス協会競技規則により行うが、本大会競技内容を次のとおり定める。

1. 試合形式

- ① 競技は、ダブルス制とする。
- ② 当日の試合順。対戦相手については、申し込み状況を考慮し、センターで決定します。
- ③ 試合進行は、各ペアの一方がジャンケンをし、勝った方がサービスまたは、レシーブ・コートサイドを選択し、負けたペアはその残りとする。
- ④ サービスは、ペアの右側の者、左側の者、次に相手方のペアに交替し、右左の順番で行い、以後そのゲームが終わるまで交互に行う。
- ⑤ 1セット終了ごとにコートチェンジを行う。また、1セット中に、ペアの左右の位置を交替することはできないが、2セット目、3セット目のはじめに位置を交替することはできる。

2. ゲームの勝敗

予選リーグ

○ゲームは 1 ゲーム8ポイント先取、デュースはしない。各リーグ上位2チームが決勝トーナメントへ。下位2・3チームが交流トーナメントへ進むこととする。

決勝トーナメント

○1 セット 6 ポイント先取デュースなし、3セット中2セット先取した方が勝者となる。

交流トーナメント

○1ゲーム8ポイント先取、デュースはしない。

3. サービスの方法

- ① サービスのトスは、特設サービスラインの前後どちらでもよいが、打つ瞬間まで特設サービスラインを踏む、もしくはコート内に入ってはならないものとする。
※障がいのない人はベースラインからサーブ。
- ② 障がいのある人は、サービスは2回とし、1本目失敗の場合は2本目を打つことができる。
※ 障害のない人のサービスは1回
- ③ サービスは、足元でワンバウンドさせたボールをウエストより下で、対角線上の相手方コートに打たなければならない。
- ④ サービスボールがネットや支柱に当たって、正しく相手コートに入った場合は、レットとし繰り返しサービスをすることができる。

4. レシーブ

・プレーヤーは、ボールがワンバウンドのあとツーバウンドする前に打たなければならない。

※ただし障がいのある人については、ツーバウンドまで、車いす使用者についてはスリーバウンドまで認めることとする。

5. サービスの失ポイント

- ① サービスしたボールが相手方のサービスコート内に落ちなかった場合。
- ② トスしたボールを打とうとスウィングし、打てなかったとき。
- ③ サービスしたボールがパートナーの身体やラケットに触れた場合。

6 プレー中の失ポイント

- ① 打ち返されたボールをノーバウンドで打った場合。
- ② コート外にボールが落ちた場合。
- ③ 打ったボールが直接、パートナーの身体もしくはラケットに触れた場合。
- ④ ツーバウンド(障がいのある人はスリーバウンド、車いす使用者はフォーバウンド)する前に返球できなかったとき。
- ⑤ 身体およびラケットがネットに触れた場合と、打球の瞬間にラケットがネットオーバーした場合。
- ⑥ ボールを打とうとしてラケットで2度以上触れた場合。(ドリブル)
- ⑦ レシーブしたボールが天井等障害物に触れた場合。
- ⑧ 打ったボールが直接、支柱に当たったとき。(サービス以外)

7 インプレー

- ① ボールがネットに触れても、正しく相手方コートに入ったとき。
- ② ラインにボールが直接触れた時。(オンライン)

8 ノーカウント

- ① 審判員が判定を誤り、プレーが中断されたとき。
- ② 突発事故等によって、プレーが妨害されたとき。
- ③ 審判員がコート内にて、そのボールに当たってしまったとき。
- ④ ボールが破損したとき。
- ⑤ その他審判員が特に認めたとき。

《サーブの打ち方》

